

診療情報を利用した臨床研究について

虎の門病院消化器内科では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた記録をまとめるものです。この案内をお読みにになり、ご自身がこの研究の対象者にあたると思われる方の中で、ご質問がある場合、またはこの研究に「自分の診療情報を使ってほしくない」とお思いになりましたら、遠慮なく下記の相談窓口までご連絡ください。

【対象となる方】

調査対象となる期間： 2024年10月 ～ 2025年1月の間に、虎の門病院に入院・通院し、内視鏡検査を受け、症状の問診票に回答された方

【研究課題名】

機能性消化管疾患診療を補助する人工知能(AI)機器による評価の検討

【研究の目的・背景】

《目的》

機能性消化管疾患診療を補助する人工知能(AI)機器による評価の精度を検証すること

《研究に至る背景》

機能性消化管疾患（逆流性食道炎、機能性ディスペプシアなど）は近年、日本においても増加傾向です。機能性消化管疾患診療においては症状の評価や内視鏡検査をはじめとした各種検査結果が重要ですが、近年悪性疾患の診断において活用されてきている人工知能(AI)技術を機能性消化管疾患に活用している報告はまだ少ないのが現状です。機能性消化管疾患において症状や検査結果を予測するAIモデルが開発されれば、日常診療の助けとなり、患者さんへの負担を総合的に見て減らせる可能性があり、より円滑な日常診療を実現できる可能性があります。

【研究期間】

2025年1月28日 ～ 2027年3月31日

【個人情報の取り扱い】

お名前、ご住所などの特定の個人を識別する情報につきましては特定の個人を識別することができないように個人と関わりのない番号等におきかえて研究します。学会や学術雑誌等で公表する際にも、個人が特定できないような形で発表します。

また、本研究に関わる記録・資料は 虎の門病院 において研究終了後 5 年間保管いたします。保管期間終了後、本研究に関わる記録・資料は個人が特定できない形で廃棄します。

【利用する診療情報】

診療情報： 年齢、性別、症状スコア、採血データ、CT・MRIなどの画像所見、内視鏡検

査結果、AIによる評価のデータ、食道内圧検査や24時間pHモニタリングなどの生理検査結果

【研究代表者】

虎の門病院 ・ 消化器内科 ・ 布袋屋 修

【研究責任者・研究機関の長】

研究責任者：消化器内科 ・ 布袋屋 修

研究機関の長：院長 門脇 孝

富山大学医学部附属病院：病院長 林 篤志

研究責任者 光学医療診療部 ・ 藤浪 斗

【利用する者の範囲】

虎の門病院 ・ 消化器内科 ・ 布袋屋 修

富山大学医学部附属病院 ・ 光学医療診療部 ・ 藤浪 斗

【研究の方法等に関する資料の閲覧について】

本研究の対象者のうち希望される方は、個人情報及び知的財産権の保護等に支障がない範囲内に限られますが、研究の方法の詳細に関する資料を閲覧することができます。

【ご質問がある場合及び診療情報の使用を希望しない場合】

本研究に関する質問、お問い合わせがある場合、またはご自身の診療情報につき、開示または訂正のご希望がある場合には、下記相談窓口までご連絡ください。

また、ご自身の診療情報が研究に使用されることについてご了承いただけない場合には研究対象といたしませんので、 2025年6月30日 までの間に下記の相談窓口までお申し出ください。この場合も診療など病院サービスにおいて患者の皆様にご不利益が生じることはありません。

【相談窓口】

虎の門病院 消化器内科 ・ 落合 頼業

電話 03-3588-1111(代表)